

～公開レクチャー～

「フランス古典の歌唱法」

講師:野々下 由香里(東京芸術大学古楽器科准教授、バッハ・コレギウム・ジャパン・ソリスト)



東京芸術大学声楽科を首席で卒業、同大学院修了。関西フランス音楽コンクール、第4回日仏声楽コンクールともに第1位入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院留学中の89年「フィガロの結婚」ケルビーノ役でレンヌ歌劇場にデビュー。ナント、トゥールーズ、リオ・デ・ジャネイロ等国際声楽コンクールに入賞。帰国後、中世から現代まで幅広いレパートリーで活躍。'95年「北とびあ国際音楽祭」(寺神戸亮指揮)でのパーセル《グイドーとエネアス》を皮切りに、ラモー《ピグマリオン》《エベの祭典》《イポリトとアリシ》に出演のほか、「バッハ・コレギウ

《内 容》

フランス古典期の声楽曲について

声部名称(フランス独特の呼び名)について

17世紀フランス様式におけるラテン語の発音について・・・「真夜中のミサ」のテキストを皆で実際に発音してみる。

フランス古典期に特徴的な演奏法について・・・イネガル、装飾法など

2009年10月10日(土)13:00～14:30

神戸松蔭女子学院大学 チャペル

入場料: ¥1,000(「フランス古典を歌おう」受講者は無料です)

事前申し込みの必要はありません。

引き続き行われる「フランス古典を歌おう」の練習は聴講できません。

お問い合わせ:神戸松蔭女子学院大学 宗教センター

Tel.078-882-6124 Fax.078-882-6136